

「認知症について」についての回答用紙によるご利用者、ご家族からのご意見、ご感想及び事務局からの返答

ご利用者ご家族 認知症の資料を見て一番に感じたことは、父親のことより自分があと2、3年で65才になるということ、もし自分が認知症になってしまったら娘（現33才、障害のB型支援で働いている）がどうなる？ちゃんと生活していけるように今のうちにしといてやらなダメやなと思いました。そのために、父親には不自由なことを言ったりそれこそショートとか今のうちに馴れてもらうというのも一つかなと思いました。色々なことを考えると不安だらけです。また、色々アドバイスをいただけたら嬉しいです。よろしくをお願いします。

事務局 ありがとうございます。認知症は誰にでも起こりうる病気です。もし自分が認知症になったら？という不安の中で、元気なうちにご家族と自分が認知症になったもしもの時の話合いを行うことも良い方法だと思います。お困り事がありましたら遠慮なくお声掛けください。

ご利用者ご家族 認知症のことも中々難しいことばかりです。主人が突然の病気で、私もとても戸惑っている毎日です。主人の介護に明け暮れる日々で、私自身も体調を崩し今後どうなるか心配の毎日です。

事務局 いつも熱心に介護をされていると思います。ケアでご自宅でのお困り事がありましたら遠慮なくお声掛けください。

ご利用者ご家族 私の父も85才で認知症になり、その後レビー小体型認知症と診断され、ケアマネージャーさん等にお世話になり養護施設に入りました。大小便等の垂れ流しで、大変な思いもしました。現在、母も認知症でこの先のことを考えています。この度の資料で、また勉強できました。今後お願いします。

事務局 ありがとうございます。ケアでご自宅でのお困り事がありましたら遠慮なくお声掛けください。

ご利用者ご家族 お世話になっています。読ませていただきありがとうございました。主人も、令和元年11月22日音羽病院リハビリステーションにて、軽度の認知症（アルツハイマー）と診断されました。2月10日にMRIの受診予約しています。認知機能は、低下しつつありますが、なんとか静かに過ごせておりますけど、何時悪化するかと不安です。身体的な衰えが進んでいるように思ってます。今後よろしくお願ひ致します。

事務局 いつも熱心に介護をされていると思います。ケアでご自宅でのお困り事がありましたら遠慮なくお声掛けください。

ご利用者ご家族 通所を始めてから3ヶ月経ちます。今は嫌がらずに行っていますが、まだ様子を見

守っている状況。本人のいない間は、私も息抜きになっています。認知症を理解したいのですが、認知症の人にどう対応したらよいのか分かりません。具体例などを紹介していただけたらありがたい。資料についてですが、パワーポイントで作られていますが、配布する資料としては、文字数が多いスライドでは文字が小さく読みづらい箇条書きで、行間を広げていただけたら読みやすくなるかなと思います。

事務局

ありがとうございます。認知症の方への対応方法ですが、認知症の方は、できていたことが徐々にできなくなってきました。周囲が直ぐにできることでも時間がかかってしまいます。そのため、認知症の方は自尊心が傷つき、やる気を失い、残存能力の低下にも繋がります。このため、認知症の方への対応は「せかさず見守る」「自尊心を傷つけない」を心がけて対応していただければ良いのではないかと思います。資料の作成方法については、いただいたご意見を参考にさせていただきたいと思います。

以上